

★セルフチェックしてみましょう★

- ☐ レポート試験ははっきり言って苦手だ
- ☐ 「正しい引用の仕方」って言われても、よくわからない
- ☐ 「レポートとはつまり、ググってコピペすることだ！」
- ☐ 今さら文章の書き方なんて聞けないと、心ひそかに思っている
- ☐ “論文試験は気合だ！”と信じて疑わない
- ☐ 正直“可”で十分だが、あわよくば“優”がほしい

上記1つでも当てはまる方，“文章のプロ”が教えます。

文章力 up 実践講座

～レポート・論文をどう書くか～

日時・場所 2015年6月29日（月）16:45～18:15，7月2日（木）16:45～18:15
両日とも図書館1階 図書館ホールで実施

講師 友尾 豊氏（文化学部客員教授）

内容 レポート・論文の書き方講義と、個人指導（課題の添削指導）

※提出されたレポートの内容に応じて講義されます。都合のよい日程を選んで申し込んでください。

申込方法

受講希望者はEメールで、

件名：文章力 ●月●日受講希望（受講希望日を記入してください）

本文：学生証番号、氏名、学部、年次

以上のことを記入して、lib-info@star.kyoto-su.ac.jp に送信してください。

担当者から、個人指導を受けられる定員内かどうかを返信します。

その後、所定のフォーマットを用いて、課題レポートの作成を開始してください。

※聴講のみを希望する場合は、本文中に「聴講のみを希望」と明記してください。聴講のみの場合、個人指導は受けられません。

定員先着 60 名！
要事前申込！
※学部学生対象ですが、
大学院生も受講できます。

★事前課題★

短いレポートを書いて提出してください。講師が添削の上、個人指導を行います。

- ・文字数等：本文 800～1200 字程度。所定のフォーマット（図書館 Web サイト、POST にあり）で作成してください。
- ・課題内容：世の中で起こっていることについて、次の4つから、一番関心のあるものを選んでください。

①国際情勢に関すること ②企業活動に関すること ③科学技術と社会に関すること ④文化・スポーツに関すること

※講師からのアドバイス：「大きなテーマの中から、自分が何を書けるか、何を主張したいかを考えて、論題（トピック）を見つける。論題を絞ったら、今度ではできるだけ手を広げて、レポートを構成する材料（資料）を収集する。図書館を活用する。集めた材料の中から使える材料を選び、使えないものを捨てて、ストーリーを作る。論題（トピック）とそれに対する答え（結論）がわかりやすい文章にする。」

- ・提出期限：6月15日（月）16時 ます、Eメールで受講の申し込みをしてください。

資料探しには、図書館へ。資料・情報が見つからないときは、2階のレファレンスカウンターで相談してください。

図書館